



JA兵庫みらい 女性会 かべ新聞

3月号VOL.21

みらい教室

桃の節句に飾りましょう 雛人形作り

女性会は2月2日、JA兵庫みらい本店中研修室でみらい教室を開きました。会員ら約20人が参加し、桃の節句の雛祭りに飾る雛人形作りを楽しみました。

みらい教室は年に5回、管内の加西、三木、小野の3地区の会員と地域の参加希望者が集まり、料理や手芸などのさまざまな手作りの活動を行いながら交流を深めています。

今年度最後となった教室では、小野市在住の太田垣初代さんを講師に迎え、ストローや綿棒など家にある身近な材料を使って、雛人形作りをチャレンジ。参加者は紙粘土で土台を作ったり、色鮮やかな布を使って女雛がまとう着物を縫ったりす



雛人形がまとう着物を丁寧に縫っています!



るなど、一つひとつ丁寧に作業を進め、約2時間後にはオリジナルの雛人形が完成しました。

参加者は「細かい作業が多くて難しかったけど、華やかできれいな人形ができたのでとてもうれしい。2つ並べて家に飾りたい」と笑顔で話していました。

最後には今年度の活動を振り返り、感想や今後の希望などについてアンケートを実施。結果や意見などは、来年度の活動に反映していきます。

1年間の集大成を披露! 第3回女性会フェスタを開催

女性会は2月20日、JA兵庫みらい本店JA会館で第3回女性会フェスタを開きました。女性会会員や関係者など約200人が参加し、今年度の集大成として活動や取り組みを発表しました。

このフェスタは管内の加西、三木、小野の各連絡協議会が、それぞれこの1年間取り組んできた女性会活動を披露し、会員同士の交流や親睦を深めるために2年前から開催しています。

会場には協議会や教室ごとに、PATCHワークやフラワーアレンジメントなどのさまざまな作品や活動の様子を伝える写真が展示され、各教室から参加者に、「黒豆入りマドレーヌ」や「有機肥料アスパ」など手作りの品のプレゼントもありました。

フェスタでは、同女性会の稲葉淑美会長が「今日は1年間の活動を発表する場。互いに交流しながら楽しく充実したフェスタにしましょう」とあいさつ。その後、大正琴や太極拳、着付けなど5つの教室の舞台発



素敵な作品がいっぱい!

表も行われ、参加者らは日頃の練習の成果を披露していました。

講演会では、加西市人権啓発指導員の岩田勝先生によるミニコンサート「いのちのちうた ころろ千の風に寄せて」が行われ、参加者は岩田先生の歌に合わせて楽しく合唱しながら、子守歌や童謡に込められた人々の願いや意味、命の大切さなどについて学びました。最後には抽選会もあり、当選者には同JAの特産品であるドレッシングや黒大豆の加工品などが贈られました。

小林正子さんは「フェスタは、他の地域や教室の活動を知ることができる良い機会。発表はとても緊張したが、太極拳教室のみんなが頑張った取り組みができたのでよかった」と笑顔で話していました。

着付け教室
華やかな帯の結び方を披露しました。

大正琴教室
素敵な音色でフェスタのオープンを飾りました。

健康体操
ボールを使って、シェイプアップ!

岩田勝先生による
講演会「いのちのちうた ころろ千の風に寄せて」

みらいちゃんも登場!

太極拳
音楽に合わせてゆったり体を動かします。

